

しぶかわNPO・ボランティア支援センターだより

2016. 7. 1 / NO. 15 / 今号から紙面を刷新しました



心和むスポット紹介①／北橋町下箱田「木曾三社神社の湧水」

NPOやボランティア団体をサポート

しぶかわNPO・ボランティア支援センターは、「市民が相互に支え合う地域社会の実現を目指して」をスローガンにNPOや

ボランティア団体などの活動を支援します。相談業務をはじめ各種の情報提供や研修会、情報紙の発行を行っています。

「チラシ&会報づくりのポイント」(裏面)

しぶかわNPO・ボランティア支援センター(所管：渋川市役所市民部市民生活課)

- 所 在 〒377-8501 渋川市石原6番地1 / 渋川市役所第二庁舎内
- 開館時間 午前8時30分～午後5時15分
- 休 館 日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 電 話 0279-22-2210 ●FAX 0279-22-2132
- E-mail npovol@city.shibukawa.lg.jp
- U R L <http://www.nposupport-shibukawa.com>

団体の活動紹介



たちばな竹の里フェスティバル

北橋地区の特徴である「竹」をテーマに、「竹工芸作品展」、竹筒とエコろうそくを用いた「竹と光のページェント」、竹太鼓による「竹音楽の発表会」などのイベントほか、竹炭無料配布や竹の子料理の無料試食、七夕飾りなどを10月22・23日に実施。

団体からの一言 各イベントにボランティアとして参加してみませんか。事務所・事務局：北橋町真壁 2354（北橋公民館）電話 0279-52-2300



渋川ソフトテニススポーツ少年団

スポーツ少年団認定指導員のもと、子どもたちが学年や学校の枠を越えた仲間づくりにより、ソフトテニスの楽しさを知り心身ともに伸び伸びと成長をすることを目的として活動しています。また、練習や大会参加だけでなく、合宿や奉仕作業（ゴミ拾い）、親子旅行も行っています。

団体からの一言 練習は毎週土・日曜日の午前中、坂東橋緑地公園テニスコート（冬季は市内体育館）で行っています。見学は随時受付中。事務所：半田 21-2（保科方）電話 0279-23-9816

当センター登録団体のみ

音響器具を無料で

お貸しします



○器具…スピーカー1台、有線マイク1本、ワイヤレスマイク2本

○利用期間…原則4日以内

○予約…利用日の2カ月前から電話にて

話にて

知っていますか？-----

「ボランティア」ってどんなこと

ボランティアって、何をするのか、どんなものがよく分からない。機会があればやってみたいと思うけど、どのように始めたらよいか分からない。そんな風に思っている方のためにボランティアの意味や関わり方を一緒に探ってみましょう。

ボランティアってお金持ちか、時間に余裕のある人が道楽でやっている！と思ってる人いませんか？違うんです。特別なことではないんです。特別なことではないんです。もう、あなたもやっているのではありませんか。自分の家の庭が汚れていれば綺麗にする。花を植えて楽しむかもしれません。それを、もう少し広げて考えてみてはどうでしょう。自分の家の近くの道路や公園のゴミを拾いや、花を植える。道に迷って困っている人がいれば道を教える。これ、立派なボランティアなんです。自分だけのことから、少し広げて他の人や社会のことをちょっと考え

てみるのが大切なんです。**やそでみたいと思ったら**
ステップ1：何ができるか、何をしたいのかを考えてみよう！「やってみよう」という気持ちが大切。
ステップ2：自分にあつた活動を見つけよう！ボランティアについて相談できるセンターに行ってみよう！
ステップ3：活動を始めよう！関心のある活動や団体を見つけよう！ボランティアに関する情報は、お気軽にしぶかわNPO・ボランティア支援センターにおたずねください。

市内NPO法人数：39団体
=20団体、市民活動団体=25団体)

団体の活動紹介



療養支援ビューティフルデイズ

放課後等デイサービス琳琳、第2琳琳の2事業所を運営しています。ハンディのある子が出来る最大限の力を生かす療育支援を行っています。個々の状態に合わせ様々な活動を行い、土曜日は大好きな外活動で、思いっきり体を動かし楽しい時間を過ごします。

団体からの一言 多くの経験を積む外出支援を充実させ、経験を通じ自信をもち歩めるよう支援をします。

事務所：北橘町真壁 1938-7 電話 0279-25-8370



渋川いきいき健康スポーツクラブ

市民の健康づくりと仲間づくりをする総合型地域スポーツクラブを渋川で初めて設立。世界レベルのトップアスリート指導のスケート教室・ローラースケート教室、元Jリーガー指導のサッカー教室、日曜冒険遊び教室、中高年健康づくり教室、子供スポーツ教室を開催中。指導者はすべて日本体育協会公認資格保持者。ローラースケート教室・冒険遊び教室は専用施設を完備。

団体からの一言 会員募集中。子どもから中高年までのみなさん、楽しくスポーツをしましょう。事務所：渋川(辰巳町)1816 電話 0279-24-0120

こんな本あります

「みつけよう ボランティア 踏み出そう はじめの一步」著者：群馬県

ボランティアを始めようとする方におすすめ

借りられます

本の貸出・返却=1人2冊まで、利用期間は15日間、当支援センター開館時間中に無料で借りられます。

セミナー
ご案内

薬物の誘惑を断るポイント

■とき 11月18日(金) 13:30
■ところ 市役所第二庁舎
■講師 NPO法人群馬ダルク 代表 平山晶一氏ほか
他人ごとではありません。ボランティア活動や市民活動をしている方々、市民の皆さんに、いつ薬物の誘惑があるか分かりません。薬物依存の怖さと誘われた時の断り方を学びます。



平山晶一氏



福島ショーン・パトリック氏

講師自身が味わった薬物の恐怖。『刑務所』『精神病院』『施設』を繰り返し、その先の『死』が見えた時、「自分は興味本位で始めたが、す

ぐ止められると思った。」と、始めた薬物が自身の体を蝕む。「多くの人が、特に家族に多大な迷惑をかけた。」と気づかせてくれたのがダルクです。
講師は、社会的に認知度がまだまだ低い薬物依存について、薬物地獄の泥沼に陥る人が少しでも減るように、自身の体験に基づいた講演を各地で行っています。また、同じ経験をしている薬物依存者を救う『集いの居場所(群馬ダルク)』の代表を引き継いでいます。
情報化社会ゆえに、薬物の誘いも巧妙かつ想像もつかない手口で私たちに迫ってきています。その断り方を学びます。

活動団体のデータ情報 2016.6.1 現在
当センター登録団体数：45 (内、NPO法人)

NPO法人・市民活動団体の催し物

①内容 ②場所 ③日時 ④申込み問合せ先

①映画『きみはいい子』**渋川上映会**／誰もが、人に傷つけられ、人に救われながら生きている人とのつながりから生まれる、「しあわせ」を描く再生と希望の物語。
※鑑賞券：大人 1,000 円、高校生以下 800 円 ②渋川市民会館大ホール ③7 月 9 日(土)午後 2 時 30 分～4 時 30 分 (30 分前開場) ④しぶかわ広域子育てネットあしたば 狩野 090-9375-9388

①**第 93 回『人塾』**(共生社会推進の人材育成と豊かな心を養う学びと語らいの場) / 「ノーマライゼーションを目指して」～あったらいいなをかたちに～
講師：前橋市障害者生活支援センター管理者 坂柳幸子氏 ②渋川市中央公民館 ③8 月 20 日(土)午後 1 時～4 時 ④NPO 法人日本福祉教育研究所 妹尾信孝 0279-24-3999

①**渋川まちなかうたごえサロン**／青春時代に歌った思い出の曲を、アコースティックギターやパーカッションの伴奏により、みんなで一緒に歌います。参加料 500 円 (ドリンクとプチデザート代) で楽しめます。 ②エッグホール (渋川駅前通り商店街 ③10 月 15 日(土)午後 3 時～5 時 ④渋川市中心市街地まちづくり市民サポーター事務局：市役所商工振興課 0279-22-2596

I ①**水中生物体験学習会**／水路でのカワニナを捕獲放流その後みんなでバーベキュー ②宮田ほたる生息地 ③10 月 16 日(日)午前 9 時～正午
II ①**赤城ふれあい祭り**／ほたるの里の活動紹介・DVD 放映 ②赤城公民館 ③10 月 29 日(土)、30 日(日)午前 9 時～午後 3 時
④宮田ほたるの里を守る会事務局長 星野信好 0279-56-8780

①**第 10 回たちばな竹の里フェスティバル**／竹をテーマにした竹工芸作品展(両日)・ページェント(22 日のみ)などのイベントを実施します。竹炭や郷土料理の無料配布もあります ②北橋行政センター北橋公民館 ③10 月 22 日(土)午前 9 時～午後 7 時・23 日(日)午前 9 時～午後 4 時 ④同実行委員会 0279-52-2300

①**北橋竹林公園秋の公開**／5000 m²の公園で竹林浴と散策／竹細工の体験 (おしぼり受け=先着 30 人)、バンド演奏、竹の実まんじゅうの試食、焼き芋・竹茶の無料サービスなど ②北橋竹林公園：北橋町八崎 1222 (県道渋川大胡線の信号機「北町」交差点に看板あり ③10 月 30 日(日)午前 9 時～12 時※小雨決行 ④事務局 090-5506-6352

チラシ&会報づくりのポイント①

今回からシリーズで、直ぐに役に立つチラシと会報づくりのポイントを連載。1 回目は、いかに目を引き読んでもらうための「ぐっと目を引く見出しの付け方」です。

見出しは「より具体的な内容」を

会報や情報紙は「見出し」の付け方によって、出来栄が大きく左右されます。右の図「見出し」の参考例をご覧ください。

向かって右は、一般的に付けられている見出しです。これでは、広報研修会が行われるという情報のみです。向かって左は、内容を具体的に表したもので、読者の関心を引きつけます。

内容を示した見出し (内容見出

し) の扱いは、大きくします。理想の文字数は 8 ～ 13 です。「7 月 5 日に第 3 回広報研修会」の見出しの扱いは小さくします。インターネット検索サイトトップ面のニュース項目 (文字数は、ほとんどが 13 文字) を参考にすることを勧めます。

次回は、「読みたくなるキャッチコピー」です。

「見出し」の参考例

7 月 5 日に第 3 回広報研修会
↓ 内容見出し
実習を交え紙面づくりのコツ

7 月 5 日 □□集会所
第 3 回広報研修会を開催します

あとがき 今号から紙面を刷新しましたが、いかがでしたか。より手に取って読んでいただけるよう、視覚に訴えるレイアウトを心掛けました。NPO やボラン

ティア団体の支援はもちろんのこと、ボランティアをするきっかけづくりの情報を 2 ページに掲載しています。一步を踏み出してみてはいかがでしょうか。